

レスコン・ジャパン

摂津容器と業務提携

ドラム缶・内装袋 一体型事業を展開

ドラム缶や1トコンテナ用の内装袋を販売するレスコン・ジャパン(本社・横浜市、社長・北窓秀夫氏)はこのほど、更生ドラム缶を扱う摂津容器(本社・大阪府摂津市、社長・福田勝氏)と業務提携し、今月から容器内装一体型事業を本格始動した。内装袋と容器メーカーの業務提携は国内でも初の試みとなる。両社の事業提携により、従来別々に納入していた内装袋とドラム缶を、袋をセットした状態で一括納入することになり、納期管理の簡略化が図れる。また、互いのネットワークを活用した、

化学・塗料メーカーなどユーザーへの営業強化や使用後容器の回収、再生も相乗効果が見込める。

レスコン・ジャパンでは今後、提携事業の拡大に備え、内装袋の標準規格化や薄手化、コストダウンをいっそう進める。